

スポ推よこすか

平成27年9月16日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄



倫理と食育の講習会

6月3日(水)19時よりヴェルクよこすか6階ホールにて、スポーツ推進委員43名の他に地域スポーツ指導者・保護者42名の参加の中開催しました。

今回の講習会の趣旨は、昨年の学区対抗児童球技大会の振り返りの中に「指導者による目に余る行動」に関する意見がいくつか見受けられ、協議会としても見過ごすことができず講習会を開催することになりました。

倫理については、スポーツ課三橋政義課長より、「スポーツ指導者の役割と心得について」日本体育協会発行のスポーツ指導者のための倫理ガイドにもとづき講演頂きました。手を挙げることはいかなる事情があっても許されないこと。一方的・強制的にならず、コミュニケーションスキルを高め、活動の狙いや内容をプレーヤーと共有することを求めました。

食育については、神奈川県立保健福祉大学・医学博士の鈴木志保子教授より、「成長期における栄養摂取と生活習慣について」と題してわかりやすい事例を挙げながら熱弁をふるっていただきました。

倫理については機会あるごとに話を今後も進めていきます。また、鈴木教授は話題も豊富で今後も他のテーマで話を聴いてみたいと感じました。

記事 副会長 林 但(富士見)

平成27年度 関東スポーツ推進委員研究大会 千葉大会

関東スポーツ推進委員研究大会千葉大会は、6月5日(金)午後から6日(土)午前にかけて千葉市内の各会場にて行われました。横須賀市からは、武会長をはじめ、関山事務局を含め8名が参加しました。神奈川県からは166名、大会全体としては1,800人あまりが参加しました。

初日は、千葉市の郊外にある千葉県総合スポーツセンターにおいて、①アトラクション、②開会式、③表彰式、④基調講演が行われました。⑤2日目は、3つテーマに分かれて分科会が千葉会場、幕張会場で行われました。横須賀市の参加メンバーは「地域スポーツの推進役、コーディネーターとして求められるもの」をテーマとした第2分科会に参加しました。

表彰式では、永年の活動に功績があった方々88名に関東スポーツ推進委員協議会表彰が授与されました。横須賀市からは矢須間隆さんが受賞されました。

講演は、千葉県出身のNHK野球解説者の与田剛氏から「野球人生から学ぶ～スポーツ指導者に求められる姿～」という表題で講演がありました。印象に残った言葉は、一流選手に共通しているのは、①素直さ、②気付き、また築き上げることができるという言葉でした。第2分科会では、スポーツ推進委員の立地環境・活動状況が極端に異なる①船橋市(大都市圏)と②南房総市(農漁村圏)の活動状況の紹介があり、スポーツ推進委員の活動の問題点(①役所の対応、②人員数、③活動内容、④定年、⑤予算等)について、会場の参加者も含め活発な意見の交換が行われました。

記事・写真 広報部 新堀 邦明(富士見)



平成 27 年度 高齢者健康のつどい

6月21日(日)横須賀アリーナにて第38回「幸(高)齢者健康のつどい」が開催されました。今年度から開催名も幸(高)齢者と改められ、「高齢者がこれからは幸せに年を重ねていけるようお願いを込めて」の意味があるようです。

横須賀の高齢者(65歳以上)は、28.9%で約3割を占めています。今回の参加者は約600名で最高齢者は98歳の方でした。90歳以上の参加者は17名で年々増えてきています。また、来賓の方のご挨拶に、私達が高齢者の方々に逆に元気をいただいている事、皆元気で生き生き「生涯現役」でいてほしいという言葉もありました。



最初は横須賀総合高校吹奏楽部の素晴らしい演奏を聞かせて頂き、ラジオ体操を行ってから、競技に入りました。皆様楽しそうに参加されて途中からは高校生も一緒に参加してもらいました。



核家族の多い近年においては、微笑ましく思える光景でした。競技は午前には5種目、午後には「民謡おどり」から始まり4種目、スポーツ推進委員の進行のも

とスムーズに行われました。皆様お昼のお弁当もそれぞれ持参し、和気あいあい楽しげに召し上がっていた事も印象に残りました。「なかよしコンピリレー」を最後に今年度の幸齢者のつどいも無事に終了！幸せな一日が終わりました。また来年も元気に参加される事楽しみにいたします。そして、万が一に備え、救急隊の方が待機する体制にも感謝いたします。

記事 広報部長 鈴木 幸子(汐入)

第5回ソフトバレーボール大会

6月28日(日)協議会主催事業の一つである、ソフトバレーボール大会が横須賀メインアリーナにて開催されました。今回の大会には37チームが参加し、会場もサブアリーナからメインアリーナに変更され、各コートでは終始熱気あふれる試合が展開され部門別優勝争いが繰広げられました。



本大会は、地域の住民が気軽に楽しめる「ソフトバレーボール」を通して、体力の維持向上と親睦・交流・普及・推進を目的として、ジュニアから成人(男子・女子・混合)まで幅広いチーム編成で構成されており各チームのプレイヤーは日頃の練習成果を発揮すべく、最後まで勝負を諦めることなくミスプレーにも笑顔で対応、競技者としての模範を示すような真剣に且つ楽しむ姿が試合中随所でみられました。全プレイヤーそして市教育委員会、協議会関係者の皆さんお疲れさまでした。



記事 広報部 岩松 芳宣(豊島)
写真 副会長 石川輝雄(森崎)

ラジオ体操サポーター育成講座

7月12日(日)、横須賀市総合福祉会館にて、「ラジオ体操指導者講習会」がスポーツ推進委員36名が参加し開催されました。これは、横須賀市の「生涯現役プロジェクト」に呼応した当協議会の「今年度の新規事業」の一環として取り組んでいる活動であり、「横須賀市と連携しながら、地域や職域で、ラジオ体操の良さを広めていく活動をする人(横須賀市ラジオ体操サポーター)」を養成する講習会であります。



市保健所の「生涯現役プロジェクト」担当の葛貫課長より「【生涯現役社会の実現】活動として、ラジオ体操は、いつでも・何処でも・誰でも出来るので、それを前面に活動することにより、一つのコミュニティーが生まれる……皆さんには地域の旗振り役をお願いします」などのご挨拶をいただきました。

続いて、保健所の全国ラジオ体操連盟公認2級ラジオ体操指導士の金原さんによるラジオ体操指導へと進みました。ラジオ体操は、

- ① 人間の筋肉は600あり、そのうち400がラジオ体操で動かせる
- ② きっちりと体操が出来るということより、全身の筋肉をバランスよく動かすことができ、筋力アップできるなど、その効果を理解し知ることが大事(その他効果→骨の再生、血液循環を良くする、消化器の動きを助ける等)
- ③ 使っている筋肉を意識することが大事
等の解説を実技の合間、合間に入れながら講習は進められました。

我々は汗をかきかき、懸命に体操を繰り返し、「本当は凄いラジオ体操」を思い知りました。

講師の金原さんにおかれては、力のこもった実技指導をしながら、口頭にて細かく重要箇所の動きなどの

説明をしていただきましたが、その声に乱れや苦しい息づかいもなく、石川副会長などはしきりに、感心していました。これも、ラジオ体操の成果かも知れません。
記事 広報部 臼井 喜八郎(森崎)

平成27年度 ソフトバレーボール研修

8月8日(土)、西体育会館にてスポーツ推進委員26名が参加し、ソフトバレーボールの運営や審判の技術向上を目指して研修会が行われました。

参加者を2グループに分け、Aグループを主審・副審の経験者、Bグループを初心者や経験の浅い方としました。

Aグループでは、3つの班に分けて、プレーヤーと審判をローテーションする形で、全員が主審・副審・ラインズマンを経験しました。笛の吹き方やハンドシグナルなど、間違いや気になった点があった場合は、ゲームの途中でもこまめにプレーを止め、全員で確認をしながら進めていきました。プレーヤーになった際も、わざとオーバーネットやサーブの際のフットフォルトを行うなど、審判の技術向上に努めていました。



Bグループでは、ネットの張り方などコート設営の説明を受け、実際に自分たちでコートを作りました。その後、笛の吹き方やハンドシグナルの動作について実際に笛を吹いて学びました。

両グループとも真剣に取り組み、楽しくゲームに参加し、充実した研修会になったのではないのでしょうか？

10月のスポーツフェスタのソフトバレーボール大会・6月のソフトバレーボール大会では、研修会で学んだ技術を発揮して大会を盛り上げてほしいです。

記事 広報部 高野正博(池上)

第27回 学区对抗児童球技大会(7月26日)



写真 会長 武 雅兄 (馬堀)
広報部 臼井 喜八郎 (森崎)
吉田 稲一 (大塚台) 新堀 邦明 (富士見)

編集後記

記録的な猛暑が続く夏でしたが、皆様、体調を整え秋の行事に参加して行きましょう。

広報部も力を合わせ活動してまいりますので、ご協力をお願い致します

広報部長 鈴木 幸子 (汐入)